

日本生命のあゆみ

日本生命は創業以来、相互扶助の精神を守りつつ、時代の要請に応えてきました。

当社は、1889年7月、有限責任日本生命保険会社として発足し、1891年、社名を日本生命保険株式会社と改めました。

創業にあたっては、日本独自の死亡統計にもとづく保険料表を完成させました。同時に、日本の生命保険会社として初めて「契約者への利益配当」を決定し、「相互扶助」の精神を具体化しました。そして、1898年、第1回大決算において日本初の契約者利益配当を実施しました。

第2次世界大戦後の1947年、日本生命保険相互会社として再出発してからは、相互会社形態により、共存共栄・相互扶助の実現に努めています。

今後も変わらず相互扶助の精神を守りつつ、生命保険会社としてお客様サービスの向上を図ってまいります。

有限責任日本生命保険会社創立 (明治22年)

創業者の弘世助三郎は、「濟世救民」の志が厚い銀行家で、当社の創業に尽力しました。



創業者 弘世助三郎

保有契約高が業界第1位となる (明治32年)

1895年保有契約高1,000万円達成により業界2位に、1899年には創業わずか10年にして業界第1位となりました。



保有契約高1,000万円達成記念式典
(1895年)

(財)日本生命済生会設立 (大正13年)

無料健康診断をはじめ、広く社会福祉・厚生事業に取組み、1931年には日本生命済生会付属日生病院を開院しました。



四国地方を訪れた巡回診療班
(1930年)

1889年

日本初の契約者利益配当実施 (明治31年)

第1回大決算で実際に配当を行い、お客様との約束を果たしました。



決算実務を担当する主計部
(1895年)

1902年

本店を現在地に新築移転 (明治35年)

威容を誇る赤煉瓦と花崗岩から成る新社屋は、東京駅等の設計を手がけた辰野金吾を顧問とし、完成しました。



本店旧本館
(1902年～1959年)

1924年

日本生命保険相互会社 として再発足 (昭和22年)

日本初の契約者利益配当を実施した相互扶助の精神に立返り、相互会社として再出発しました。



記念式典で挨拶する弘世現常務(当時)

1947年

日生劇場開場
(昭和38年)

竣工した日比谷ビル内に、日本の芸術・文化発展の一助とすべく「日生劇場」を開場しました。



日生劇場の開場ポスター



小学生の劇場招待

**ニッセイ・ライフプラザ
第1号店開設**
(昭和62年)

専門的なコンサルタント業務を行うファイナンシャル・プランナーを配置した来店型店舗で、現在、全都道府県に展開しています。



第1号店 ニッセイ・ライフプラザ新宿

**コーポレート・
アイデンティティ導入**
(昭和63年)

「新しくあろう」「発信・提案していこう」という企業姿勢を込めて、「NISSAY」を採用。社章も新しく切替えました。



「みらいのカタチ」発売
(平成24年)

「お客様一人ひとりにぴったり」「お支払いを大切に」というコンセプトで、保険商品を全面的に刷新しました。



「みらいのカタチ」

**マスミューチュアル生命保険
株式会社との経営統合**
(平成30年)

金融機関窓口販売マーケットにおけるお客様からのご要望に幅広くお応えする体制構築に向け、2018年にマスミューチュアル生命保険株式会社と経営統合をしました。

1963年
1981年
1987年

1988年
1992年
2002年
2012年
2016年
2018年

**定期保険特約付
終身保険発売**
(昭和56年)
(1983年(昭和58年)に
「ロングラン」と愛称付与)

お客様に広く支持され、
当社の主力商品に成長しました。



**3大疾病保障保険
「あすりーと」発売**
(平成4年)

生前給付型商品開発の
先駆けとなりました。



「あすりーと」

**「ニッセイ100万本の
植樹運動」
目標を達成**
(平成14年)

1992年に開始した植樹運動は、2002年に目標の100万本を達成し、翌年から「ニッセイ未来を育む森づくり」を開始しました。



「ニッセイ未来を育む森づくり」
のポスター

**三井生命保険株式会社との
経営統合
MLC Limitedの買収**
(平成28年)

中長期的な成長基盤を構築し、日本生命グループ全体での収益拡大に向け、2015年に三井生命保険株式会社と経営統合を行い、また、2016年にはMLC Limitedを子会社化しました。